

2023年3月31日

芙蓉総合リース株式会社に対するシンジケーション方式 DBJ-対話型サステナビリティ・リンク・ローンへの参加

株式会社千葉興業銀行（頭取 梅田 仁司）は、株式会社日本政策投資銀行（以下、DBJ）が組成した芙蓉総合リース株式会社（代表取締役社長 織田 寛明、以下、芙蓉リース）に対するDBJ-対話型サステナビリティ・リンク・ローン（以下、DBJ-対話型SLL）に基づくシンジケート・ローンへ参加いたしました。

DBJ-対話型SLLは、「サステナビリティ・リンク・ローン原則」（以下、SLLP）および「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」（以下、環境省ガイドライン）に基づき、サステナビリティ・コーディネーターであるDBJが対話を通じて借入人のサステナビリティ経営の高度化に資する適切なキー・パフォーマンス・インディケーター（以下、KPI）とサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下、SPT）の設定を支援するとともに、貸付期間中の定期的な対話によりSPTの達成に向けた伴走支援を行う融資メニューです。

芙蓉リースは、「2030年に目指す姿」からバックキャストした重要課題（マテリアリティ）として、「循環型社会実現への貢献」を掲げるとともに、中期経営計画「Fuyo Shared Value 2026」においても、サーキュラーエコノミー分野を成長ドライバーとして、経営資源を集中的に投下するトランスフォーメーションゾーンに位置付けています。

本件では、当該マテリアリティに対応する非財務KPIとして、「廃プラスチック（返却物件由来）のマテリアル/ケミカルリサイクル率」を選定し、SPTを設定しました。

【KPI】

芙蓉リースの子会社である株式会社FGLサーキュラー・ネットワークの八王子テクニカルセンターにて荷受けされた返却物件由来の廃プラスチックのうち、株式会社FGLサーキュラー・ネットワークの委託先によってマテリアルリサイクルまたはケミカルリサイクルが実施された割合（kgベース、以下、「廃プラリサイクル率」）

【SPT】

2025年度における廃プラリサイクル率を80.0%以上とすること

<本ローン概要>

借入人	芙蓉総合リース株式会社
マンデーテッド・リード・アレンジャー	株式会社日本政策投資銀行
サステナビリティ・コーディネーター	株式会社日本政策投資銀行
貸付人	株式会社千葉興業銀行、株式会社日本政策投資銀行、株式会社肥後銀行、株式会社大垣共立銀行、株式会社荘内銀行、株式会社四国銀行、スルガ銀行株式会社、株式会社第四北越銀行（順不同）

以上